

植物で作った色水の研究

益城町立 津森小学校 3年 石川 けい

1 研究の目的

1年生のころ、今の4年生が花びらで色水を作っているのを見て、ぼくもやってみたいなあと思った。それで、植物をつぶした色水どうしをまぜても絵の具の色をまぜたときと同じ色になるのか調べてみようと思った。

2 研究の方法

(1)いろいろな色の花びらや実、葉をあつめる。花の名前は図かんで調べ記入しておく。

(2)ふくろの中に花びらなどと水を入れ手でもみつぶす。かたい花はすりばちですりつぶす。

(3)できた植物の色水を小さじ1ぱいずつまぜて、どんな色になったかかくにんする。また、植物の色水をお手本に絵の具で色水を作り、同じように小さじ1ぱいずつまぜる。

3 研究の結果

(1)できた色水

植 物				
色 水	 赤	 オレンジ	 青	 緑

(2)まぜてできた色

植 物		+		=	
絵 の 具		+		=	
	ツユクサ 青		ガリア 赤		むらさき
	青		赤		むらさき いたようなむら さき色になった。



けつこうちかう色になった。

(3)時間 かつと色がかわった色水



ブルーベリーの实をつぶして色水を作ったすぐはこゆういむらさき色だったけど、時間がかつとだんだんうすい赤むらさきにかあった。

4 研究のまとめ

ツユクサの青とガリアの赤をまぜると、絵の具とくろべると同じようなむらさきになった。しかしキバナコスモスのオレンジツユクサの葉の緑をまぜてできた色は絵の具をまぜたときの色とずいぶんちかう色になった。ブルーベリーなどの植物から作った色水は、時間がかつにつれ色かわるから色を作るのは大へんだと思った。それにくろべつ絵の具は時間かたても色かわらないからベリだと思った。